

# ひています

役場の電話は  
62-2111番です

利用ください。

## 気軽にどうぞ

四月一日付けて、役場職員  
の人事異動が発令されました  
が、各課の職員がどんな仕事  
をしているか、その主な事務  
分担をお知らせします。

役場という行政組織は、地  
域全体の安全と、住民一人一  
人の健康、福祉など、人間の  
幸せを求めて、少ない予算で



いろいろな相談にも応じています。  
気軽においでください。(役場窓口)

大きな効果を上げていくとい  
う使命を持っています。

行政を進めていく課程の中  
では、それぞれ住民の間にも  
意識の違いや、価値感の違い  
など、様々な考え方の違いも  
出てきます。

村では、事務の合理化と人  
事管理の適正化に努め、おた  
がいの立場を尊重しあえる行  
政を進めています。

仕事についての相談、要望  
意見、わからない点などたく  
さんあると思いますが、気軽  
に相談してください。(電話

職氏名	主な仕事
保健婦 野宮 富子	派遣保健婦

### ▶相内保育所 62-3163

所長心得 大沢ふみ子	保育所事務
主任保育 山内 洋子	保育主任
保育 桑 優子	保母
給食婦 三和 葉子	給食
用務員 三和ハツイ	保育所用務

### ▶臨元保育所 62-2344

所長心得 長利 友子	保育所事務
主任保育 桑野 尚子	保育主任
保育 長谷川浩子	保母
給食兼用務員 三和チヨエ	保育所給食及び用務

### ▶十三保育所 62-2038

所長心得 高橋 浩子	保育所事務
主任保育 三上 久恵	保育主任
保育 松橋 悦子	保母
相川みどり	

職氏名	主な仕事
-----	------

### ▶十三出張所 62-3101

出張所長心得 村山 正臣	出張所で取扱う事務
用務員 相川由紀子	出張所用務

### ■企画財政課 内線(26.32番)

課長 高松 隆三	課内総括、企業誘致、地域振興、予算編成、財政運営の総括
課長補佐 桑野 邦夫	広域広域、過疎振興、半島振興対策、村組合開発審議会、村づくり長期計画、津軽西北五地城広域行政、コミュニティ統計
係長 奈良 典昭	予算編成、財政計画、地方交付税、村債、決算、財政統計調査
主査 本荘 博	予算編成、地方交付税、公共施設状況調査、財政統計、財政計画、山村振興、過疎地域活性化プロジェクト

### ■民生課 内線(34.35.36番)

課長 鳴海 尚志	課内総括、施設(保育所、診療所、老人生がいセンター)連絡調整、児童館長兼務
課長補佐 白川 善治	国民年金、児童手当、児童扶養手当、特別児童扶養手当
主任主査 山崎 良子	生活保護、防災、老人福祉、民生委員、視覚者、労働、身障者福祉、保育所入所措置
主幹 和嶋 定義	保健計画、成人病及び精神病対策、予防接種、老人保健、保健協力組織
主任主査 浜田 和幸	環境衛生、公害対策、老人保健(医療費)廃棄物の処理
主事補 三和房之朗	伝染・寄生虫・狂犬病予防
保健婦 鎌田 明美	駐在保健婦

### ■総務課 内線(21.25.31番)

課長 三上 常一	議行事の総合調整、課内総括、公平委員会、公印管理、法制、運営、議会
課長補佐 鳴海 文保	人事管理、条例規則、職員の福利厚生、車輛運行管理、公務災害、町内会、行政改革、行政相談
係長 奈良 勝義	村有財産管理、財産区総括、物品管理、交通安全、清品流通、秘書に関すること
主任主査 木村マサ子	窓口事務(戸籍、住民基本台帳、人口移動、印鑑登録、国民健康保険・年金等資格得費その他証明)
主任主査 黒川 泰子	住民応接相談、窓口事務(戸籍簿、住民票簿抄本交付、人口動態、その他証明)外国人登録
交換手 佐々木礼子	電話交換手、窓口事務補助、交通共済、文書收受、広報無線
係長 中野 松男	税務業務、滞納整理、税務統計、納税野集組合、自動車重量税、村税条例、予算
主任主査 高田 正剛	村民民税、法人税、電気税、村たばこ消費税、固定資産(家屋)評価
主任主査 秋元 収	固定資産税、土地償却資産の評価、国有資産所在市町村交付金、納付金、各種台帳等の整理
主査 岡本 雪子	国民健康保険税、特別土地税、有税、木材引取税、税務証明
運転手 秋田谷多喜樹	公用自動車の運転及び整備管理
用務員 川田 秀樹	理
用務員 岩間定四郎	本庁用務
奈良ヘルエ	

### ▶臨元出張所 62-2021

出張所長 三和 貞三	出張所で取扱う事務
用務員 播引 智恵	出張所用務

■教育委員会 62-3751.3016

職氏名	主な仕事
主任 葛西安十郎	委員会会議の運営、教育予算、職員の手続、人事、総合企画、実施の調整、村史編さん委員会、海洋センターの運営
補佐 山内 守栄	学校教育（学務全般）
係長 成田 義正	社会教育、コミュニティセンター管理、村史編さん委員会体育指導委員の委嘱、山村広場管理
兼道社教主事 工藤 明	社会教育、青少年健全育成、文化財保護、青年、婦人学級の開設運営
社教主事 石岡 芳幸	公民館設置管理運営、生涯教育推進、かきこい生活運動推進、諸集会の開催、奨励
主事補 葛西 達也	社会体育、海洋センター管理事務、スポーツレクリエーションの普及、スポーツ・グループの育成指導
用務員 小笠原俊治	教育委員会及び市浦中学校用務、スポーツ指導車の運転
用務員 奈良ふみ子	接客用務、調理室備品の管守
用務員 山田 春美	市浦中学校用務
用務員 工藤 良子	相内小学校用務
用務員 山田 いつ	脇元小学校用務
用務員 成田 勝由	十三小学校用務
給食婦 柏谷マツエ 葛西くみ子	相内小学校給食
給食婦 工藤 壽子 渡辺ゆき子	脇元小学校給食
給食婦 吉田 タケ 石戸谷武子	十三小学校給食
給食婦 三上キヨエ 佐藤キヨ 亀田カツイ	市浦中学校給食

職氏名	主な仕事
主事 越谷 悟	家畜共済、任意共済、畑作物、園芸施設共済

▶育成センター 62-2072

所長 下沢 徳三	育成センター事務、人工受精、家畜改良、増殖、現場労務管理
運転手 三浦 徹朗 岡本 儀照 陸彦	機械作業の実施、維持管理

▶農業委員会 内線（37番）

係長 三和 徳衛	農業委員会事務
-------------	---------

■建設課 内線（46.50番）

課長 竹谷 博則	課内総括、予算編成・管理、地籍調査委員会、村営住宅供給委員会、用地買収、企画、審査、検査
係長 古川 徹	公営住宅、建築、港池、都市計画事務、水道、下水道
係長心得 一戸 俊一	土木、道路、河川、除雪、農業土木、災害復旧
主事 山田 達二	国土調査、用地買収
技師補 成田 勲	水道施設の維持管理、水道工事の検査
主事 三浦美智男	水道メーターの検計、料金の測定、徴収

■出納室 内線（28.29.40番）

主任主事 竹谷 裕治 榎方ゆう子	出納会計事務
------------------------	--------

■議会 内線（25番）

主事 鎌田 和廣	議会事務全般、監査、選挙
-------------	--------------

# こんな仕事を



取入役・成田義衛 村長・三重 貢



教育長・柏谷秀一 助役・工藤誠一郎

職氏名	主な仕事
給食婦 豊島 サチ	給食
用務員 湊 いづみ	保育所用務

▶診療所 62-2009

診療所長 松岡 史彦	内科診療
歯科医師 浅見 克巳	歯科診療
事務長事務取扱 鳴海 務	診療所事務総括、X線撮影業務
看護婦 藤田 今 浜田 都子	看護
主任主事 佐野川ノル	診療所事務
看護婦見習 今 ハツエ 亀田忠美子	看護

■経済課 内線（27.38.39番）

課長 松江 幸勝	課内総括、予算編成、農業振興推進委員会、漁業振興推進委員会、農業共済事業運営協議会
課長補佐 安保 隆悦	草刈造成、県営地開墾事業、国営等草地開墾附帯事業、自給飼料生産総合振興対策事業、農業委員会、畜産振興公社
係長 長利 勝雄	水田利用再編計画、農業団体指導、地域農政特別対策、地域農業生産総合振興対策、農業災害、福作、畑作振興
係長 斎藤 修一	水産商工観光団体指導、観光資源開発、沿岸漁業振興、漁場整備、商工振興
係長 佐藤 悦男	農業共済事業会計経理、農作物共済、病虫害防止事業
主任主事 奈良 孝博	農業振興地域整備管理、水田利用再編補助金、生活改善センター、基幹集落センター、国有林野活用、保安林、部分林

## 人事異動

（4月1日）  
（ ）は旧所属です

▽総務課長補佐兼総務係長（総務課総務係長）鳴海文保  
▽同課政保（議会書記）秋元取▽同電話交換手（脇元保育所用務員）佐々木礼子▽企画財政課長補佐兼企画係長（企画財政課企画係長）桑野邦夫  
▽同財政係長（経済課農林商工係長）奈良典昭▽民生課長補佐兼健康管理係長（民生課健康管理係長）白川隆治▽同主幹（経済課主幹）和嶋定義▽経済課長補佐兼畜産係長（企画財政課財政係長）安保隆悦▽同農政係長（経済課振興係長）長利勝雄▽同水産商工係長（建設土木係長）齋藤修一▽同農業共済係（民生課農上キヨエ▽同補佐兼学務係長（教委学務係長）山内守栄

生係）越谷悟▽建設課土木係長心得（建設課土木係）一戸俊一▽同建設係（教委社教係）三浦美智男▽相内保育所主任保母（脇元保育所保母）山内洋子▽同給食係（教委給食係）三和徳衛▽脇元保育所保母（相内保育所保母）長谷川浩子▽同給食兼用務員（教委用務員）企画財政課企画係長）佐野川ノル▽議会事務局長（総務課長）三上常一▽同書記（同課政保）鎌田和廣▽教委社教係（建設課建設係）葛西達也▽同用務員（総務課電話交換手）奈良ふみ子▽同給食係（教委給食係）葛西くみ子▽同（脇元保育所）渡辺ゆき子▽同（相内保育所）三上キヨエ▽同補佐兼学務係長（教委学務係長）山内守栄

# 松岡史彦医師が着任

## 辺地医療を守る

### 信頼され、やる気満々

「辺地の医療は、携わり、地域住民の予防医学に本領を発揮することが、私たち自治医科大学卒業医師の務めです。」

「でなければならぬと思うし、それなりの教育や実技研修は受けてきましたから。」

森明彦医師の後任として着任した、松岡史彦医師(27歳)

## 評判上々、青年医師



学生時代は、現代音楽研究会に所属しており、トロンボーン・ランベットの、が得意だという

松岡史彦医師

「弘前市出身」は、辺地医療に携わる自覚と意欲を、たんと語ってくれました。

松岡医師は、辺地医療の医師確保を目的に、各都道府県がスポンサーとなり、昭和四十七年に開校した自治医科大学の第七期生。

昭和五十九年三月、同大学卒業後、青森県立中央病院に

二年間勤務し、この四月、セツ子夫人、長男、俊介さん(一歳)の三人で着任しました。

「一日の診療で見る患者は、平均七十人ぐらいですが、大半がお年寄りと子供たち、それも高血圧と足腰などの神経

を見せる。

痛が主なものです。成人病などで、働き盛りの人たちも悩んでいると思ふ。定期的に検査するといふのだが」と、住民の健康を思いやる松岡医師は、県立病院勤務時代は、外来患者の診療は直接担当したことがなかった。外来患者の診療は初めてで、面喰らっている。診療時間が長くかかり、自分でイライラしているんだから、順番を待っている患者さんの気持ちに思うように、申し訳ない気がして」と、順番を待つ患者さんに気遣いを見せる。

「若いお医者さまですが、病気のことや注意すべきことを観

切に、詳しく教えてくれる。たのしい先生だしや。」「先生の出してくれた薬をのんだら体具合がよくなって。」「足腰が痛くて、歩くのが辛かったが、注射をしてもらった。さっぱりして。」「等々、松岡先生の気遣いとは逆に、住民の信頼と評判は上々です。

「経験不足な私でも、患者さんは信頼して来てくれるんだから、がんばりますよ!!」と、やる気満々です。

「辺地医療を一手に引き受け



不安をとりのぞくように、やさしい言葉をかけながら診察する松岡医師。



新入学児童対象の予防接種にも忙しくかけまわる。



# みんなで贈おう 日本の血液

▶4月1日スタート 新しい献血制度

人生八十年代社会——わたしたちは今、かつて経験したことがない。長寿時代を迎えています。同時に、医療の進歩によって、昔前ならば、体力のない高齢者は受けられなかった手術も、今では可能になりました。そのため今の献血制度ではすでに、すべての血液製剤を国民の献血だけでは賄い得ない状況になっています。

## あなたが選択

### 三つの献血方法

昭和六十年の献血者は全国で約八百七万人、全人口の約七・二%の献血率は、世界でもトップレベルを誇ります。しかし、一回あたりの献血量「二百ミリリットル」は、世界でも最少量のレベルです。そのため多くの善意にもかかわらず、医療用の血液は十分ありません。このため、今回の改正では、従来の「二百ミリリットル献血」に加え、新たに「四百ミリリットル献血」と血液中の特定成分だけを採血する「成分献血」が導入されました。

その結果、四月一日からはこれら三つの中からどれかを

選んで献血できるようになりません。

## 安全性は実証済み

血液の安定確保と、輸血による肝炎などの感染やそのほかの副作用を減らすために生まれたのが、四百ミリリットル献血です。

例えば二百ミリリットルの輸血は、二百ミリリットル献血では六人分の血液が必要ですが、四百ミリリットル献血の場合、三人分です。

必要量が確保できると同時に、一方で数多くの血液を混ぜ合わせることで、輸血による副作用を減らすことができるのです。つまり、量の確保と安全性が得られる採血方法なのです。

## 必要な成分を採血する

成分献血とは、血液中の血漿あるいは血小板だけを採血する方法です。なぜ、このような採血方法が必要なのかというと、血漿成分からつくる血漿分離剤が現在の医療になくてはならないものだからです。しかし、今、この製剤をつくる血漿は国内で確保できないのです。そのため、その製剤や血漿の九〇%以上を外国に頼っている。医療に必要な製剤を国内でつくるためにも、成分献血はなくてはならない採血方法なのです。

## 健康な時に献血を

今回の四百ミリリットル献血と成分献血の導入は、医療に必要な血液製剤すべてを献血から確保する努力の第一歩なのです。



## 移動採血車が 献血にご協力を

きます

満十六歳から六十四歳までの健康な方で、体重が男性四十五・女性四十・を超える方ならごなでも献血できます。

本村には、五月二十三日（金曜日）献血車がきます。場所と時間は次のとおりです。ご協力ください。

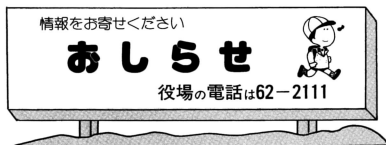
## 5月23日 金

ところ	じかん
津スポ軽	9時から 9時30分まで
脇元公民館	9時から 10時30分まで
市浦農協	11時から 11時50分まで
村山食堂	14時から 14時30分まで
十三公民館	16時から 16時50分まで

## 血漿分離製剤

血漿分離製剤とは、血液中の血漿成分をさらに個々の成分に分離・精製したものです。この製剤は必要な成分だけを使用するのですが、日本

の献血制度では、数倍の献血者が必要です。そのため輸入した製品や血漿を通し、エイズ（後天性免疫不全症候群）に感染するという問題が発生しました。いま、国民の必要とする血液は国民の献血による血液で確保することがせまられています。



子供と高齢者を  
交通事故から  
守ろう

## 忘れなでね 昭和61年度労働 保険料の申告納付

労働保険の昭和61年度概算保険料と昭和60年度確定保険料の申告納付をしていただく時期になりました。すでに事業主の皆さんには、申告のための用紙を送っておりますが、この申告書に保険料を添えて、法定期限の5月15日までに最寄りの銀行か郵便局へお納めください。

## 交通事故で 悩んでいませんか

県では、交通事故にあった方々を救済するために、交通相談所を設け、交通事故にともなう損害賠償の算定、請求、示談の方法等について無料で相談に応じています。

相談は、面接相談のほか文書や電話による相談にも応じます。

### ■相談所設置場所

青森市新町2丁目4の36  
青森県社会福祉会館6階  
電話番号 青森(0177)22-1111  
内線・5440・5441

### ■相談日・時間

(1)日曜日、祭日の休日を除き毎日  
(2)平日は午前9時30分から午後4時まで。土曜日は正午まで。

### ■巡回交通事故相談所の開設

五所川原市役所市民相談室  
毎月第二・第四火曜日(午前10時から午後3時まで)

### ■お願い

山には、営林署が掲げる看板が要所に建てられてあり、山に入る方に注意を呼びかけて守るべきことは絶対守るよう心にかけられています。山火事を出さぬ、出さないもあなたです。十分注意し合せて、美しい自然を損うことなく、汚すことなく思いっきり楽しんでいきましょう。

相談したい方は、次のことを調べておいてください。

- ▶事故の日時、場所、状況
- ▶ケガの程度と入院、通院の日数
- ▶被害者の氏名、年齢、職業
- ▶自動車の持主、責任保険および任意保険会社名
- ▶交通事故証明書の写を持参してください。

## もし、お宅に病人が出たら 看護教室へのおさそい —五所川原保健所—

家族が家庭の中で、わたきりの人をお世話する機会が増えてきています。わかっているようで、案外わからないもの、それは病人の看護の仕方ではないでしょうか。

五所川原保健所では、次により看護教室を請求します。

いざというときあわてずに適切な看護ができるように、お世話の手順とコツを学んでください。

### ■主催 五所川原保健所

### ■場所 五所川原保健所会議室

■日時 毎月第2木曜日、午後1時から3時まで。

日程	テーマ	内容
第1回目 ●4月10日 ●10月9日	わたきりまで髪が洗えます	○看護教室開催にあたって ○看護の心がまえ ○わたきりまでの髪の洗い方
第2回目 ●5月8日 ●11月13日	快適な部屋の工夫	○五所川原市におけるわたきり老人の状況 ○病人の観察のポイント ○部屋・ベッドの整え方
第3回目 ●6月12日 ●12月11日	できてしまっただけからでは遅い床ずれ(それを予防するには)	○簡単なシーツ、寝巻きの交換の仕方 ○寝巻きの工夫と作り方 ○からだの動かし方

## 河川美化にご協力を 建設省・五所川原出張所

河川は、水と緑のオープンスペースとして村民生活にうるおいを与えるための重要な役割を果たすものです。

わたしたちの生活は、古くから河川と密着しており、飲料水、工業用水、かんがい用水など、人間生活を考える上で複雑多岐にわたって深い関係を持つものです。

この母なる河川を汚すことは、わたしたちの生活自体を汚すことであり、その美しい自然環境を維持し、整備することが、精神衛生を含めて健康的な村民生活のための条件であると考えられます。

春の屋外活動の活発になる時期。河川の美化運動を推進しましょう。



観光シーズンの幕あけです。河川美化につとめましょう。



突然に起こる災害は、自然の中で長い間苦勞を共にしてきたあなたの森林を一瞬にして奪い去ろうとします。

行楽の季節は、緑の山へ入る人が増えます。自然を愛し親しむことは大いに結構なことですが、そこには厳しきこととできが、そこには常に自覚することが大切です。たとえば火の不始末による山火事、風の強い時のたき火による森林火災などが毎年のように発生し、そのたびに多くの人に迷惑をかけることになり、莫大な賠償を負わねばならなくなります。

山には、営林署が掲げる看板が要所に建てられてあり、山に入る方に注意を呼びかけて守るべきことは絶対守るよう心にかけられています。山火事を出さぬ、出さないもあなたです。十分注意し合せて、美しい自然を損うことなく、汚すことなく思いっきり楽しんでいきましょう。

# みなさん元気に働いていました

## 出稼者を激励訪問

村では三月四日から九日にかけて、京都、滋賀、愛知、静岡県で働いている村出身の出稼者を激励訪問しました。

激励訪問したのは、工藤誠一郎助役、三和省勝民生係長、組合長、磯松地区出稼組合、十三地区出稼組合、三上浅吉組合長、磯松地区出稼組合、伊南忠雄組合長の四人で、事業所四方所を訪問、各事業所の本村出身者は、みんな元気に働いていました。

第一日は、京都府舞鶴市にある丸玉産業株式会社を訪問し、工藤助役が本村の現状を説明したあと、同社の保村総務部長が、会社の概要を説明してくれました。

同社で、季節労働者を受け入れたのは市瀬村出身者が初めてとのことで、本村出身者七名が、木加工品の作業をしていました。寮は、工場敷地内にありますが、工場内は

夏、冬関係なく三十五度以上もあるということ、大変だ、とのことでした。

二日目は、滋賀県栗太郡にある㈱三東工業社を訪問、東常務取締役が、会社の説明をしてくれました。

訪問して驚いたことは、同社ビルの大ききでした。

本村からは、約二十年も前から同社に來ている人が多く、二日目のことは、ほとんど知り

り尽くしているようでした。

現在、十五名の本村出身者が雇われていますが、一時帰郷しているとのことで、十三地区出身の山田幸子さんが、夕食の準備に忙しうけまわっていました。

同社ではいま、三階建ての寮を建築中であり、労働条件の改善にも力を入れているとのことでした。

三日目は、名古屋にある大成株式会社と、静岡県磐田郡にある㈱吉野工業所を訪問しました。

ビル設備・環境管理センターの㈱大成には青森県出身者が多く雇用されており、朝六時頃

出かけて、夜八時頃でないとは帰らないということで、本村出身者には会えることができませんでした。寮母さんの話では、みんな元気に働いているということでした。

プラスチック容器を生産している㈱吉野工業所では、桜井次長が会社の概要と工場内を案内してくれました。

清潔な工場内では、作業員のほかに、ロボットによる作業が行われていたことが、印象的でした。同社には、東津軽郡三厩村出身者が多く、本村出身者は一時帰郷で、柗引俊則さんだけが残って働いています。

善意ありがとう  
全労災青森県本部市浦地区共済会  
今年も十万円を寄附



中山佐一會長(左)から三重村長へ手渡されました。

本村の近況を報告する  
工藤助役(右から二人目)



●谷兄弟、成田さん、山田さんもみんな元気でした。



丸玉産業で働く村出身者



「元気に頑張ってください」と激励しました。

全労災青森県本部市浦地区共済会(中山佐一會長)では、このほど役場を訪れ、「消防・防災対策に役立ててください」と、現金十万円と火災予防の桃太郎旗三十本、横断幕等を寄附しました。

労働者の保険事業を取り扱っている同会では、無報酬で事務を行い、事務員が剰余金となったことから、その一部を、「火災を未然に防ぐために利用してほしい」と、寄附したものです。

同会では、昨年も現金十万円寄附しています。

村では、早速防災対策費として利用することになっています。

# 市浦村町内会

## 連合会を設立

連帯感を強め  
住みよい村づくりを

村内十町内会を会員とした、市浦村町内会連合会が、このほど設立され、具体的な活動方針や役員などを決めま

した。

豊かで住みよい活力のある市浦村を建設するには、うるおいとままりのある地域社会の形成が不可欠であり、これには、住民がその責任と役割分担に応じて参加することが必要です。

各町内会が、地区住民の連帯感を醸成を目指し、地区に密着した生活、文化、余暇活動等を展開するなど、連絡調整及び運営指導にあたること

を方針としています。

具体的な活動については、①各町内会の活動計画等について指導助言する。②広域的な問題をとりまとめる。行政との窓口にあたる。③町内会の優良事例を、「広報しゅら」で紹介する。④会議の開催により、各町内会間の意識疎通をはかる。

- ▼役員は次のとおりです。
- 会長 古川 長光、▼副会長 長嶋 海雄、村元 富弥、長尾 平内
- ▼理事 柳引 一夫、石岡 鉄義、三浦 兼四郎、秋田 谷文雄、木村 栄、越野 鉄雄、白川 浅次郎、
- ▼監事 斎藤 正彦、浦田 啓三郎、▼事務局 長三 上常一

# 輪禍追放へ一丸

○シートベルト、ヘルメットの正しい着用徹底。

○子供とおとしより、特に新入学（園）児童の交通事故防止。

○二輪車の無謀運転の追放。

○飲酒、暴走運転の追放、などを運動に掲げた、春の全国交通安全運動は、四月六日から十五日までの十日間実施され、市浦村でも期間中、関係者による街頭指導、巡回パ

ロールなど、徹底した交通安全運動を展開しました。

四月七日、国道三三九号線で行った街頭指導では、村交通安全対策協議会、安全協会市浦支部、交通安全母の会、学校、保育所などの関係者が総出で、道行くドライバーに「交通安全手形」をプレゼントし、道行くドライバーに、シートベルトの着用、安全運転を呼びかけました。



十三地区（真上）と、脇元地区（写真下）においても、交通安全の会や、関係団体長らが街頭に出て事故防止を訴えました。



町内会単位で実施している村民体育大会も、年中行事の一つです。

## 戸籍の窓

お誕生

- 小倉 広大（十三） 広起
- 米谷 美紀（相内） 奉三
- 白川 真衣（相内） 和人
- 木村 真己（太田） 秀之
- 梶浦 嘉恵（十三） 英俊
- 漆 裕美（相内） 福次郎
- 上野 誠純（相内） 潔
- 山田 裕志（脇元） 敏昭
- 相川 浩平（十三） 金祐

ご結婚

- 畦上 恭彦（長野） 三上 男治（相内） 78歳
- 葛西 ゆか（長野） 外崎 繁造（脇元） 76歳
- 相内 慶三（相田） 工藤 繁三（相内） 56歳
- 秋田 谷恵美子（相内） 濱田 リ七（十三） 86歳
- 福島 美佐子（十三） 山本 常治郎（脇元） 46歳

## おくやみ

- 山田 雅治（脇元）
- 成田 正浩（相内）
- 今井 いづみ（兵庫）
- 越野 宏幸（川崎）
- 佐々木 祥子（桂川）
- 鳴海 彰光（太田）
- 市川 聖子（新潟）
- 柳引 松三（脇元）
- 富坂 静子（磯松）
- 中内 美智子（東京）
- 竹内 篤（磯松）
- 伊藤 照剛（横濱）
- 伊藤 剛（横濱）
- 新倉 みのき（十三）

## 編集室から

四月六日、昭和六十一年度のばじまりをす。新入役員は、脇元地区のバツカビのランドセルを、バツカビの運送していきませ。今号は、六十一年度の村づくりを主眼に編集しました。新年度は、このころから、編集コーナーをスタートさせたいと思いましたが、編集が具体的にどうなるかは、まだよくわかりません。お読みの方の、ご意見、ご感想、ご要望、ご協力をお願いいたします。